

●令和7年度【放課後子供教室】目標と実績

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
放課後等における児童の安全・安心な居場所の確保の必要や、体験活動等による児童の健康的な心身の成長や豊かな価値観を育成するための支援が重要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の放課後や長期休業期間の居場所づくりと共に、文化的・スポーツ的な様々な体験活動を実施する。 ・地域学校協働活動推進員の調整のもと、地域住民や関係施設の協力による年間20回程度の体験活動実施を目指す。 	通常の活動に加え、ボランティアの講師による体験活動を実施。主になわとび教室等のスポーツ活動、工作教室等の体験プログラムを通し、児童の興味や関心を引き出すきっかけ作りができた。	学校生活や家庭だけでは経験できない多様な体験活動に参加することにより、児童の興味関心の幅が広がる。 また、学年を超えたふれあいや地域住民との交流が増えることで、心身の成長や豊かな価値観を育成する。	地域ボランティア等参画の体験活動の実施回数	10	回	20	18	安全・安心な居場所づくりと共に推進員の学習支援を定期的に行い、地域ボランティアによる工作教室やなわとび教室、夏休みには中学生ボランティアとの交流活動を実施した。 多様な活動を通して児童の心身の成長を促す機会となった。今後は新たな活動を企画する等活動の幅を広げていくことが課題である。